

基調講演者のご紹介

基調講演 (テーマ)

「離島からの挑戦」
～最後尾から最先端へ～



島根県隠岐郡海士町長

山内 道雄 (やまうち みちお) 氏

1938 年、海士町生まれ。NTT 通信機器営業支店長、(株)海士総支配人を経て、95 年海士町議に当選。2 期目に議長就任。2002 年町長に初当選。元島根県離島振興協議会会長、元全国離島振興協議会副会長。あえて単独町制を選択し、大胆な行財政改革と地域資源を活用した「守り」と「攻め」の戦略で、地域の外から多数の移住者(「よそ者」)を受け入れながら、島おこしに奮闘中。現在四期目、第三セクター「(株)ふるさと海士」社長。

分科会のテーマ

第一分科会

「産業・雇用戦略による地域再生」

産業・雇用が減り、衰退している地域は全国各地にあります。一方で、農山漁村の「6次産業化」や魅力ある観光地づくりなどに取り組み、地域活性化につなげた事例もあります。産業が地域活性化につながる成功の秘訣を考えます。

第二分科会

「教育戦略による地域再生」

地域の核になる学校が廃校になり、地域の繋がりが失われた事例は全国各地にあります。一方で、「山村留学」などの特徴的な取り組みによって、全国から子どもを集め、地域の活性化につなげた事例もあります。今後、学校は地域の核としてどうあるべきか探ります。

第三分科会

「地域コミュニティによる地域再生」

価値観の相違、核家族化、人口減少などによって、住民間や世代間の繋がりが希薄化する中、市民自治の視点などからも、地域コミュニティが注目されています。地域再生につながる一方策として、コミュニティのあり方とその取組みに目を向け考えます。

第四分科会

「移住・定住戦略による地域再生」

地域の人口減少によって、「空き家の増加」「限界集落化」など、地域社会が成り立たなくなってしまう事例が全国各地で見られます。そこにある「空き家」「空き地」を利用して、外部からの住民を呼び込み、地域を再生することはできないかを探ります。

■分科会で議論となる話題を提供して下さる方は、申し込み時に概要を記載してください。

【参加申込方法】

当学会ホームページの専用フォームからお申し込みできます。

FAX、Eメール、官製ハガキの場合は、下記の①～⑦を記入の上お申し込みください。

①氏名 ②住所 ③電話番号 ④会員・非会員(一般・学生)の別 ⑤希望する分科会
⑥交流会出席の有無 ⑦総会出席の有無(会員のみ)

【参加申込先】

【参加申込専用フォーム】 <http://ws.formzu.net/fgen/S33240316/>

【FAX】011-299-6941 【Eメール】jichigakhok@yahoo.co.jp

【ハガキ】〒060-0906 札幌市東区北6条東3丁目3-1 LC北六条館6F

北海道NPOサポートセンター内 北海道自治体学会事務局あて

【申込期限】2015年5月1日(金)必着 申込期限前でも定員に達し次第、締め切ります。

【お問合せ先】電話 011-299-6940(平日10時～18時)または上記Eメールアドレスへ

■内容の一部を変更する場合がありますのでご了承ください。

■学会ホームページ(<http://jititai.net/hokkaido/>)に最新情報を掲載します。

表面もご覧ください!

『人口減少社会を見据えた地域づくりとは』

【開催趣旨】

2013年11月、「日本創成会議・人口減少問題検討分科会」等が発表した将来予測が「壊死する地方都市・2040年地方消滅」という極めてショッキングな見出しとともに掲載されました。この「地方消滅」という表現をもって、より一歩踏み込んだ形での厳しい将来予測は、これまであまり例を見なかったものの、将来予測自体については、ある程度認識されていたことであつたと思います。しかし、これほどまでに直接的表現をして発表されただけに、マスコミ等では大々的に報道をされ、社会では、将来がまさに危機的な状況にあると受け止め、様々な論議が活発化しました。

我々北海道自治体学会は、今後さらに本格化する「人口減少社会」にどのような向き合うべきでしょうか。また、教育・保健・医療・福祉といった住民にとって必要不可欠な生活環境がしっかり維持・担保された「新たな時代に向けた豊かな地域コミュニティ」をめざすためには、どのように「地域社会の再構築」に挑んでいくべきか、当学会のキーワードである「いま私たちが出来ること」を実践すべく、2015年度政策シンポジウムを開催するものがあります。

どなたでも参加できます。多くの皆さまのご参加をお待ちしております。

◆北海道自治体学会総会（会員のみ）	10:00~10:45
★政策シンポジウム	11:00~17:00
◆当学会の研究会報告	11:00~12:00
集落研究会ほか、当学会が取り組む研究会の活動を報告します。	
◆開催趣旨・挨拶	12:50~13:00
◆基調講演	13:00~14:30
「離島からの挑戦」～最後尾から最先端へ～	
■講師：山内 道雄 氏（島根県隠岐郡海士町長）	
◆分科会	14:45~16:15
「産業・雇用戦略」「教育戦略」「地域コミュニティ」「移住・定住戦略」をテーマに4分科会に分かれ、議論を行います。	
◆分科会報告	16:30~16:50
◆全体のまとめと閉会挨拶	16:50~17:00

■日時 2015年5月16日(土)10:00~17:00
(9:30開場)

■会場 北海道大学人文・社会科学総合研究
教育棟W203号室
(札幌市北区北9条西7丁目)

※JR札幌駅北口から徒歩10分、地下鉄南北線北12条駅から徒歩10分

■定員 200名

■参加費

①シンポジウム 会員は無料（要申込・参加券持参）
一般1,000円 / 学生500円（要申込）

②参加者交流会 3,500円 17:30~19:30（要申込）

※会場は当日ご案内します。



裏面もご覧ください！